

無料 法律相談

とき 2月17日(火) 午後1時~4時
3月18日(水)

ところ 中央公民館 (部屋は1F入口案内板に掲示)

主催・連絡先 船橋市議団 ☎047(436)3030

弁護士と議員が相談を受けます 労働相談も受けています

要予約



あなたもぜひお読みください

赤旗 日刊 3,497円 日曜版 823円

日本共産党船橋市議団ニュース 2015年2月 No.210

日本共産党船橋市委員会 船橋市二和東6-41-20 TEL.047(440)5240 市議団控室【船橋市役所内】 TEL.047(436)3030 FAX.047(420)7201

12月議会

暮らしを守る市長の姿勢が問われた議会 財源はあるのに発揮されないリーダーシップ

第4回定例議会(11月19日~12月19日)が開催されました。

市長から提案された議案について、日本共産党は国民監視体制になるマイナンバー制度実施のための費用が計上された補正予算等に反対し、休日急患・特殊歯科診療所を新たに設置するための条例案等は賛成しました。

守る課題が急務となっています。また、介護保険料の大幅値上げが計画され高齢者の暮らしを直撃しようとしています。財源調整基金残高が261億に達するほど財源はあり、市長のリーダーシップが求められています。残念ながら発揮されないままの議会となりました。さらに今議会、過去に本議会が可決した従軍慰安婦問題解決の意見書の撤回を求める陳情が多数で採択され、歴史を偽る新たな意見書が可決されました。

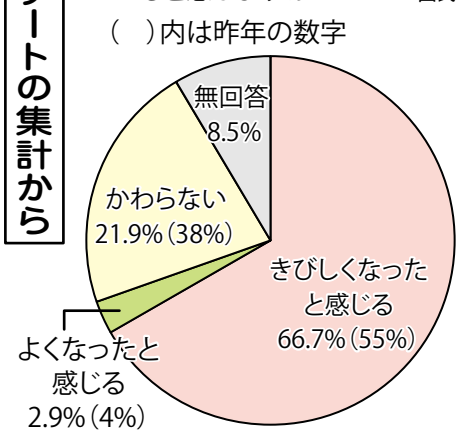
市長に予算要望書提出

11月25日、日本共産党船橋市議団は、今年度の市政要望アンケートに基づいて作成した「2015年度予算要望書」を松戸徹市長に提出し、要望実現を申し入れました。

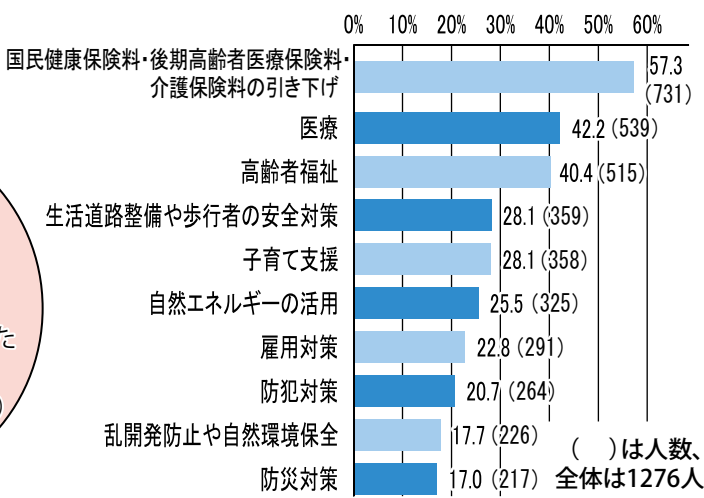
アンケート(回答数1360通)の、(1)「暮らしについて」、(2)「優先して実施を望む政策」は、別表の通りです。



■暮らしについて、去年と比較してきびしくなっていると感じますか ()内は去年の数字



■優先的に実施してほしい政策(22項目から5つ選択)



過去の日本軍慰安婦問題解決の意見書が撤回される 歴史を偽造する動きは許されない

今議会に、2009年12月の船橋市議会で可決した「河野談話」に基づく「従軍慰安婦問題解決に関する意見書」の撤回を求めた6本の陳情がだされました。内容は、昨年8月に朝日新聞が従軍慰安婦報道を誤報と認め取り消したので、その「意見書」は根拠がなくなったとして撤回を求めたものです。

しかしこの「意見書」のもととなっているのは「河野談話」であり、朝日新聞誤報の吉田証言は使われていません。また、各国の元日本軍「慰安婦」が、「慰安婦」が、

「慰安婦」が、

昨年(2014年)の総選挙では、南関東ブロックで3議席。全国で21議席へと躍進させて頂きました。さっそく議案提案権を使い「政党助成金廃止法案」を提出する予定です。私は、農林水産委員会に所属が決まり、17ある委員会すべてに委員を出すこともでき、あらゆる分野で皆様の声を届けるため頑張る決意です。



衆議院議員 斎藤 和子



市議会公議員 丸山 慎一



市議会公議員 石川 敏宏



市議会公議員 岩井 友子



市議会公議員 金沢 和子



市議会公議員 佐藤 重雄



市議会公議員 関根 和子



市議会公議員 中沢 学



市議会公議員 渡辺 ゆう子



市議会公議員 松崎 さち



市議会公議員 坂井 ようすけ

市議会公議員

市議会公議員

市議会公議員

市議会公議員

市議会公議員

市議会公議員

市議会公議員

市議会公議員

重度障害・難病医療費制度に

冷たい政治姿勢

今年8月から重度障害者医療費助成制度が、窓口での助成に改善されることになりました。

しかしそれと同時に県

は、通院1回300円・入院1日3000円の自己負担を導入し、65歳以上で新たに重度障害に認定された方を対象外にしようとしています。自己負担導入や対象削減をしないよう質問しました。市は、「県の決めたこと。県の制度設計にならって準備を進めている」と冷たい答弁です。

小児慢性疾患への助成制度では、1月から重症児や

非課税世帯等にも負担増となる法改正がありました。

これに対しても「制度の

議員の半数は、市民のくらしが見えていない？

都市再生機構の公共性を否定！

市内の七団地自治会から

国に対して「都市機構（UR）が管理する住宅（旧公団住宅）」の「公共性を維持し続けること」を求める意見書を、議会から提出して欲しい、という陳情が出されていきました。

議会最終日、この陳情は

賛成が23、反対が24、という「僅差で不採択」とされ

「持続可能性維持のため」と社会保障削減を推進する政府と同じ立場の姿勢をあらわにしました。



てしまいました。

市民にとって「居住」は、絶対に欠かすことのできない条件です。高齢社会では「持ち家」でも「居住条件を欠く」事態（玄関や屋内に段差があるなど）も避けられません。そんな想定もできない議員にみなさんの未来が託せますか？

議案・発議案・陳情等に対する各会派の態度

議案・発議案・陳情等		結果	共産	公明	自無	自民	凛	市ネ	市政	民主	は	高	や
日本共産党提案	少人数学級の継続・拡充に関する意見書	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×
	消費税10%への増税中止に関する意見書	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○
	原子力発電所の再稼働をしないことを求める意見書	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○
請願・陳情	特定秘密保護法の廃止を求める意見書提出に関する請願	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×
	従軍慰安婦問題解決に関する意見書撤回に関する陳情	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書提出に関する陳情	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×
	都市再生機構管理賃貸住宅を公共住宅として存続させ、住宅セイフティネットとして活用すること等を求める意見書提出に関する陳情	×	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×

略記は次の通り 自無：自由民主党・無所属の会、市ネ：市民社会ネット、市政：市政会、は：はまの太郎、高：高橋宏、や：やぶうち俊光